

平成24年度第3回東郷湖活性化プロジェクト推進会議 会議録

日 時 平成25年3月29日(金) 午後3時～4時30分
場 所 湯梨浜町役場 2階第1・2会議室

1. 開 会 進行：中本企画課長

こんにちは。ただいまより平成24年度第3回東郷湖活性化プロジェクト推進会議を開催いたします。本日は、年度末で大変お忙しい中お集まりいただきましてありがとうございます。本来なら副町長が司会進行をするわけですが、本日急遽広島のほうに県外出張しておりますので、私、企画課長の中本が会議のほうを進めさせていただきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

2. 会長あいさつ

こんにちは。推進会議にご出席いただきましてありがとうございます。手元にウォーキングのパンフレットがあるんですけども、ウォーキングとかジョギングにとってもいい季節になってきたなということで、私もよく朝歩いたり走ったりするんですけども、こうしたことをするごとに、本当にいいところに住まわせてもらっているなあということを思います。そして年々、東郷湖畔を走ったり歩いたりすると、少しずつレベルアップしてきたなということを感じています。そういうレベルアップにこの会が大きな役割を果たしているのだということを思います。今日はそういう意味で、皆さんがお取組いただいた24年度の事業の進捗状況の確認、それから25年度さらにこういうことをしたらいいというような提案、あるいは河川の整備計画とかあるいは道路の整備計画等もあるようですので、そうしたお話を伺いながら皆さんから率直なご質問やご意見をいただければと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

3. 町長あいさつ

皆さん、こんにちは。本日は本当にお忙しいところお集まりいただきまして、ありがとうございます。今会長さんが申されましたように、この東郷湖周、今年もまたいろんな動きが出てくると思っております。天女のふる里づくり事業も進展してきておりますし、ウォーキングリゾートのほうも、今日手元にコースづくりなんかの結果がお配りしてありますけれども、出てきております。また、周回道路につきましては、ずいぶんと県のほうにご尽力いただきまして、今年には実にたくさんの路線で、長和田の辺の道路の嵩上げですとか松崎の辺の歩道設置のための調査ですとか藤津の歩道設置ですとか、そういったいろいろな事業が調、査費計上されて着手される、設計計上され着手される格好になっております。そういった意味で大きく進む年だなというふうにも思っております。皆さんのご協力をいただきながら、きちんと意見をふまえて、正しく魅力的な地域づくりを行いたいと

思いますので、なにとぞよろしくお願ひいたします。

(中本企画課長)

ありがとうございました。では4番の協議事項からにつきましては会長のほうより進めていただきたいと思ひます。

4. 協議事項について

(1) 平成24年度事業進捗状況について

◆個別事業の進捗状況

(山田会長)

では進行を務めさせていただきますが、とりあえず4時半頃までにはと思ひますので、よろしくお願ひします。

では、4の(1)平成24年度事業進捗状況について、個別事業の進捗状況ということでご説明をお願ひしたいと思ひますが、資料はこれでよろしいでしょうか。「平成24年度東郷湖活性化プロジェクト進捗状況」。それで順次、まず1ページを開けていただくと環境分野ということで、そこから1番からずらっと並んでおります。町民課から、1番からお願ひいたします。

(前田町民課長)

はい。町民課でございます。ページは2ページ及び3ページというところでございます。最初に水草の肥料化ということでございますが、これは前回のプロジェクト推進会議でもお話をさせていただいたところでございますが、本年度につきましては東郷池に水草の発生がなかったということで実施をしております。そういうことで目標に対する達成度といたしましては0%ということでございます。原因につきましてはいろいろと、水大気環境課、また衛生環境研究所等からもいろいろとお世話になったところでございますが、これだと言う原因は特定できないんですけれども、本年については塩分濃度が高かった、それに伴って水草の成長が阻害されてきたのかなという点。あとはアオコが非常に大量に発生いたしました。そうしたことで光が遮られて成長が阻害されてきたのかなというようなところでございますが、これだという原因は特には判明いたしておりません。

次に3ページでございます。東郷池を守るアダプトプログラム制度の推進ということで、本年度は5団体増の30団体を目標に活動をしてまいりました。達成度でございますが、4団体の皆さまに新たにアダプトプログラムの趣旨に賛同していただくということで、目標に対する達成度は80%ということでございました。なんとか100%ということを目指していたわけでございますが、4団体という状況でございます。以上です。

(会長)

ひととおりの説明をいただいてからご質問をいただきたいと思ひます。3番をお願ひできますか。

(森建設水道課長補佐)

続きまして、建設水道課です。4ページをお願ひいたします。水質浄化覆砂事業及び効

果検証ということで、覆砂工事は平成21年22年に実施いたしまして、平成21年から24年にかけて効果検証調査を実施しております。検証結果の概要でございますけれども、進捗状況・実績のところを書いてございますけれども、覆砂施行により一定の効果が得られましたけれども、浮泥の再堆積による窒素溶出抑制効果の減衰や溶存酸素消費量の不安定化というものが見受けられた。リンの溶出抑制効果は継続しているけれども、深い場所などで嫌气的条件になった場合に、効果が低下するということが示唆された。それから浮泥の再堆積は、河川からの流入物質だけでなく、内部生産これは植物プランクトン及び周辺浮泥の巻上げにも起因していたということで、ひとまず検証結果が出ましたので目標に達する達成度は100%としております。今後は本調査結果を今後の施策検討に活かすこととしております。以上でございます。

(会長)

4番お願いします。

(石田産業振興課参事)

内水面の環境保全ということで、10月27日に実施完了をしております。目標達成のほうを見ていただきますと分かりますように、ゴミの回収量は25%増加し、処理量も24.5m³というようなことで、目標に対しまして75%でございました。で、最終評価のほうでございますけれども、発泡スチロールなどの大型のゴミが多く見られ処分量が増加したと思われませんが、引き続いて減少に努めながら進めていきたいと思っております。以上です。

(会長)

次、5番をお願いします。

(中本企画課長)

稚魚の放流調査というかたちで、毎年ですけれどもサケの飼育放流プロジェクトというかたちで町として協力をさせていただいているところです。今年度につきましても、12月11日に発眼卵を受け取りまして、役場、田後保育所、はわいこども園等で卵を育てていきました。最終的には3月10日に放流をしていただいたところでございます。それで事業の目標でございますが、事業の進捗状況について随時ホームページで公開していくかたちでございます。目標に対する達成度につきましては75%と入れております。最終評価でございますが、進捗状況をホームページで公開したが、全町の取り組みとして幅広く周知、啓発することができなかったというところで、ちょっと反省点も含めてこのへんが足りなかったということで75%というような数字でございます。以上でございます。

(会長)

6番お願いします。

(石田産業振興課参事)

池の産物料理メニュー化促進ということでございますが、商工会青年部を中心に、しじみを使った料理をということで『鬼しじみ焼きそば』というものを作りまして、販売をいたしました。いろいろなところのイベントのほうに参加をさせていただきながら、たくさ

んの方にPRできたんじゃないかなというふうに思っております。目標達成としては75%です。最終の評価でございますが、ここ平成24年につきまして、しじみの不漁の影響でなかなかイベントのほうにもさくさんお出しする事ができなくて、多くの方にその魅力を発信できなかったのかなということで、今後のメニュー化についてはちょっと困難かなというふうに思っております。以上です。

(会長)

7番をお願いします。

(石田産業振興課参事)

カニバス事業でございます。これは、はわい温泉・東郷温泉がカニバスを利用して、京阪神のお客様を誘客していくという事業でございます。今年は12月の15日からあと2日ほど時間がありますけれども3月31日までの期間を設けて実施しているものでございます。本年につきましては、だいたい5,400人程度の利用があったということでございます。ちなみに昨年が4,800人ということですので、約600人程度増加したということで、非常にお客様にも好評をいただいております。目標達成といたしましては80%ということにさせていただいております。以上です。

(会長)

では8番を続いてお願いします。

(石田産業振興課参事)

特産品販売促進活動ということで、二十世紀梨を中心に9月の6、7、ちょうど二十世紀梨の収穫の最中ですが、東京新橋のアンテナショップに出向きまして、二十世紀梨と、昨年『愛すプロジェクト』で進めておりますアイスを販売して町のPRに努めてきました。昨年につきましては、「二十世紀梨まるごとパイ」というものを町内の製造業者さんにお願ひし、作っていただいて非常に好評だったということでございます。書いてありますように、店頭では毎日完売してしまうというような盛況ぶりでもございました。目標達成につきましては、全体的にさらに認知度は上がったと思っておりますけれども、80%くらいというふうに考えております。以上です。

(会長)

9番目をお願いします。

観光商品造成戦略活動ということで、ここに挙げております着地型の観光商品ということで、滝床料理のツアーを行っております。ここに挙げております進捗状況・実績でございますが、利用のほうが約900人ということで、ざっと940~950人ということでございます。昨年在1,000人をちょっと出ましたので、若干の微動でございますが、定着してきておるなあというふうに実感しております。それから、それぞれ旅行会社のエージェントを訪問させていただきながら、こういった着地型の商品についていろいろご意見なり要望・それから提案などもいただいております。それから昨年からは始めました倭文神社参拝ツアーでございますけれども、非常に利用の方が多くなりました。この冬の間でも1回に4~50人というツアーのご利用もいただいているということ

で、楽しみにしておるといふことでございます。それに加えまして、下にありますボランティアガイドの養成、これは倭文神社の参拝プランで、慣れない我々がツアーのお客様に紹介をさせていただいているんですけれども、そういったガイドの方を地元の方から養成しながら町をPRしていただくというふうを考えて今年の12月でございますけれども、そういったボランティアガイドを先進的に進めておられるところを視察してまいりました。達成度としては80%でございます。以上です。

(会長)

10番お願いします。

(燕趙園 山口園長)

11ページをお願いします。遊覧船を使った燕趙園の遊覧でございます。望湖楼さんがお持ちの遊覧船を使いまして、燕趙園と望湖楼を発着とした東郷池の遊覧を実施するということでございます。前回の会議で、進捗状況については10月1日までご報告いたしましたので、それ以降、5件の団体のお客さまが入っていらっしゃるということでございます。事業の目標のところは2,000人を目標ということであっております。実は去年は企画もののツアーを、この船もつけましてやりましたが、それが今年はないということで減となっております。で、目標に対しまして9.3%ということでございます。ただ、先ほど8ページのカニバスの事業がございまして、このお泊りのお客様で松崎周辺を散歩されるお客様に遊覧船に乗っていただいて、こちらの対岸に来ていただくということがございます。だいたいカニバスの利用者数を加えてカウントしますと1,000名以上は来られますので、そのくらいの方は乗っておられるだろうというふうに思っております。

続きまして、12ページをお願いいたします。燕趙園の道の駅でございます。道の駅の活性化ということを主眼におきまして、燕趙園の各イベントに合わせまして振興策を行っておるといふことでございます。先ほどと同じく、進捗状況・実績のところをご覧くださいますと、前回までのご報告の分がほとんどであります。下から2行目それと1番下の行、1月2日正月にですね、餅入りぜんざいのふるまいということで行いました。まあこれは燕趙園の正月イベントと合わせてということになりまして、大体参加者が100名程度、それから2月の9～11日これは感謝祭ということで、燕趙園の春節の祭と同時開催ということで行いました。この3日間の期間中でだいたい500名弱のご参加を得ているという状況でございます。今後も、単独というよりも燕趙園、庭園側のイベントと合わせて、何かのイベントを打っていきたくと、で、プラスさらにオリジナルの商品をこれからもどんどん開発していければなというふうに思っております。以上でございます。

(会長)

では12番お願いします。

(石田産業振興課参事)

ホワイトライアスロン in 湯梨浜ということで、去年の6月17日に開催いたしました。実績のほうでございますけれども、一般が311名、学生20名、ジュニア16名、リレー13組という、たくさんの方にご参加をいただいております。それから、ボランティア

スタッフでございますが、合わせて600名というようにございます。メディアにもたくさん出させていただいて、ラジオとか道の駅にパンフレット、それからインターネット等で情報発信をさせていただきました。で目標達成度というところでございますが、宿泊が非常に伸びました。目標を74名、これは少なめに見てるんですけども、第3回の前年が約100名のところが204名というような、倍増となる宿泊をいただきました。ボランティアにつきましても、目標を一応450人ということでございましたが、440名のたくさんの方にご参加いただき、ご協力いただきました。最終評価のほうでございます。364名がお越になられて、600名という大きなボランティアならびににスタッフでこの大会を進めていき、周辺では地域の皆さん約2,000名の方でございますが応援など、この大会を盛り上げながら、また東郷湖周辺の魅力を発信できたなあというふうに思っております。以上です。

(会長)

では13番。

(中本企画課長)

14ページでございます。湯梨浜夏まつりでございます。地域に根付いた伝統行事や湖上花火大会など東郷池の魅力向上を図るということで、地域活性化及び観光振興に向けた取り組みを実施するというところで、水郷祭、まゝ項目には挙げてませんが、泊の夏まつりというかたちで実施をいただいております。それから進捗状況・実績につきましては、前回言いましたけれども、7月22日に水郷祭を開催されたところでございます。目標でございますが、湯梨浜夏まつりの認知度を向上させるため、湯梨浜夏まつりのホームページのアクセス数を3,000以上という形をとっておりますが、目標達成度は98%でございました。最終評価といたしましては、本年度は2,937件ということで、前年度は2,691件でしたので、前年度よりも上回ったわけですが、少し目標的には届かなかったということでございます。それと民間企業によるホームページにつきましては12件の契約をさせていただいたということでございます。以上です。

(会長)

では、続いて14番お願いします。

(中本企画課長)

中華コスプレ・プロジェクトでございます。進捗状況でございますが、日本大会を5月に実施と中華コスプレアジア大会というかたちで11月に実施されているところでございます。参加人数につきましては5月が194名、11月が193名の参加であったということでございます。それで、今回初めて企画として「中華グルメの祭典」とか「中国アニメ上映会」「中国アニメ映画監督とのシンポジウム」を開催したということでございます。事業の目標といたしましては、参加者の増加を図り、本町及びイベントの魅力を発信するというところで、参加者を前年以上にするということでございました。前年度は、日本大会が112名、アジア大会が155名、韓国からの11名ということでございましたが、今年度の実績としましては、日本大会、アジア大会におきましても参加人数を上回ったとい

うことで、目標達成率を100%としたところでございます。最終評価でございますが、日本大会、アジア大会とも前年度実績を上回って、専用ブログが徐々に浸透してきたのではないかとございまして。また、まんが王国とつとりの共催イベントとして周知が図られたことも大きな要因だったと思っております。参加者の大半はリピーターでありますけれども、半分以上は新規の参加者で、インターネットによる戦略が新たな参加者の確保につながったのではないかとございまして。また、更衣室の拡大、本町を巡回するループバスの運行など、今滝とか倭文神社などを巡りながら宿泊施設への送迎など、参加者の満足度の向上に努めたということでございまして。以上でございます。

(会長)

続いて15番お願いします。

(中本企画課長)

東郷湖ドラゴンカヌー大会でございます。第12回ドラゴンカヌー大会につきまして、大会は8月26日に開催、76チームの参加でございました。目標達成につきましては、100チームの参加を目標にしておられたんですけれども、達成率は76%ということで減になったということでございまして。評価といたしましては、大会の日程が他のドラゴンカヌー大会と重なって、例年参加いただいているチームが参加できなかったために、参加チームが伸びなかったということでございまして。ですが、地元の新しいチームの参加は増えているため、日程などの調整がつけばチーム数の増加につながるんじゃないかという評価をしているところでございまして。また、屋台等の充実については幅広く参加を募り、近隣では琴浦ぐるめストリートなどからも出店をいただいて賑やかに開催することができました。以上でございます。

(会長)

では、続きまして16番お願いします。

(石田産業振興課参事)

17ページでございます。水源域森林育成作業ということで、緑の産業再生プロジェクト事業による間伐事業等により森林の整備を推進するということと、竹林整備事業とあわせてタケノコ生産の振興を図り里山環境の改善を推進するというようなことでございまして。進捗と実績でございますが、現在竹林整備事業0.59haを実施しております。この緑の産業再生プロジェクト事業、間伐でございますが、5.0haを実施中でございます。ただ、この事業を繰越しております。来年度25年度とあわせて10.0haの事業であるというふうに聞いております。以上です。

(会長)

では、17番お願いします。

(石田産業振興課参事)

エコファーマーの推進ということでございまして。環境にやさしい農業者の育成、それから東郷池の水質に影響のある農薬とか化学肥料の使用料低減を図る、それから農薬散布後の残農薬処理を適正に行うという計画で、実績のほうでございます。各支部を通して防除

後の残農薬の適正処理について周知・指導をしております。それから農薬希釈時等に使用する東部地区4箇所の給水施設において注意喚起を行っております。それから梨の指導会において、エコファーマー認証制度について普及指導員を通じて啓発活動を行っております。この制度は一応5年間というふうなことであります。目標達成につきましては、50%です。最終の評価でございますが、農薬の適正管理について指導を徹底的に行うことができた一方、より実効性を高めるため、今後は農業者自らがチェックする体制を構築していきたいと。それから、果樹農家に対してエコファーマー認証制度について啓発しておりますが、今後は普及に向けた具体的な取り組み、制度の加入を進めていきたいという旨を聞いております。以上です。

(会長)

18番をお願いします。

(石田産業振興課参事)

シジミの生息環境改善対策ということでございます。実績といたしまして、覆砂事業を11月3日から28日、計で25回実施しております。稚貝放流については、今年度は稚貝の確保が難しく、10月26日に対策会議を開いたところでございます。目標達成につきましては100%。最終評価でございますが、着実にシジミ生息域を拡大しつつあるものの、原因不明といいますか夏場の異常熱波による環境悪化が原因と思われるんですけども、それによる稚貝の減少に困惑をしているところでございます。来年度につきましては、稚貝確保のため、底地改善を実施する予定でございます。以上です。

(会長)

では19番をお願いします。

(森建設水道課長補佐)

19番から21番、建設水道課でございます。19番、観光ルートの整備ということで、20ページをお願いします。観光ルート整備事業ということで町道今滝線の改良、これは大型観光バスでの乗り入れを可能にするというようなことで取り組みました。工事自体が平成25年3月22日に完成いたしております、主にカーブを大型バスが曲がりきれなかったわけでございますけれども、カーブの部分のところを拡幅、だいたい1m。4mのところを5m、そういうようなところで拡幅をいたしております。結果的に大型観光バスの利便性の向上は図れたというふうに考えております。

続きまして20番の藤津公園の地盤沈下対策でございます。工事が6つございまして、多目的広場、カヌー乗場、水生植物園、あやめ池スポーツセンター西側の浸水対策、めだか池周辺の浸水対策、駐車場の浸水対策ということで、進捗状況・実績のところにも書いてございますけれども、平成24年6月末で全ての工事を完了しております。最終評価でございますが、概ね計画通りの進捗で浸水区域の改善が図られた。公園利用者の安全性及び利便性の向上が図られたというふうに考えております。

続きまして21番、ページは22ページでございます。東郷湖周辺道路整備事業ということで、今年度24年度は藤津から宮内区間これの測量設計、それと県道倉吉青谷線の松

崎駅前区間の調査というようなことでして、本日は、県土整備局の方がお見えになっておりまして、後ほど詳しい説明をなされますので、そちらのほうへ委ねたいと思っております。以上でございます。

(会長)

では22番お願いします。

(本田生涯学習・人権推進課長)

23ページ、東郷荘絵図活用導入事業でございます。実施の方針として、文化財解説ボランティアの資質の維持及び向上のため、定期的に毎年2回研修会を開催し、その際に案内役の実習を実施する、そして東郷池周辺の文化財をテーマに歴史講演会を開催するとしております。今年度実績でございますけれども、岡山県高梁市等への視察研修会を含め4回開催いたしました。それと歴史講演会を1回開催したところでございます。事業の目標に対しましては、恒常的な文化財解説ボランティアの配置のほうはまだ養成中であるということで、できなかったことにより目標に対する達成度を50%とさせていただいております。このため、ボランティア配置に向けて今後とも養成に向け引き続き努力したいと考えております。以上でございます。

(会長)

では23番お願いします。

(中本企画課長)

24ページでございます。ゆりはま塾でございます。町の歴史、伝統、自然等に関する講座で知識・技術等を習得し、次世代への継承を図るということと、ここには書いていませんけれども、観光ボランティアのほうにつながっていければなということで、ゆりはま塾を開催しておりますところでございます。実施の方針でございますが、学習会を年6回程度と、ゆりはま塾を年4回程度、教育委員会と共催でやるということでございます。進捗状況といたしましては、右のほうに書いてありますけれども、学習会を7回とゆりはま塾を4回実施したところでございます。目標としましては事業を随時ホームページで公開するというかたちでやっております、目標達成については100%ということでございます。最終評価といたしましては、学びたいテーマは塾生同士で話し合っただけで、自主的に学習するようになっておりますし、引き続き各種講座や講師派遣など、生涯学習・人権推進課と連携しながら進めていきたいと思っております。また、今後は継承活動や、先ほど言いましたようにガイドについて理解を深めるための研修も開催していく予定でございます。それで12月11日にガイドというかたちで、ゆりはま塾と観光協会及び県観光連盟等の主催で、町とでございますが研修に行ったというのが、実績も含めてですけれども、最終評価としているところでございます。以上でございます。

続いてですが、私のほうの所管になるものですから、続けさせていただきたいと思っております。東郷湖・未来創造会議でございます。天女のふる里づくり事業というかたちで活性化プロジェクトに提案させていただいております。東郷湖・未来創造会議で集約した事業を具現化させるために、新たに東郷湖のシンボルとして設定した天女によるまちづくりを推

進するということで事業をやっておるところでございます。24年度の計画といたしましては、これまで説明してきましたけれども、キャラクターデザインの募集・決定だとかキャラクターを作るというかたちでございます。それとあとシンポジウムを開催してPRをかけていくということと、ウオーキングリゾートの推進というかたちでのプロジェクトでございます。実績としましては、キャラクターデザインは特許庁のほうから許可がありまして、デザインは決定をさせていただいたところでございます。それと天女シンポジウムも開催し、終了したところでございます。あと、キャラクターの愛称のほうも募集をかけたしまして、愛称のほうの委員会での決定は諮っているわけですが、それにつきましても、後の利用ということを考えてこれも特許庁のほうに申請しておりまして、早く発表したいわけですが、特許庁からのゴーサインがまだ出ていないというのが現在の状況でございます。それで早く情報を一緒になって発表していきたいと思っているところでございます。あと、実績として着ぐるみの製作を今年度行ったところでございますけれども、着ぐるみも製作が完了してきたところでございます。あと、ノベルティの製作ということで、皆さまの席のほうに配らせていただいておりますけれども、クリアファイル、こちらは3種類ございますが、全部配ると数が少なくなってしまうものですから、1種類ずつお配りしています。それぞれいろいろな種類であると思っておりますけれども、去年のまんがサミット、まんがのほうの補助金をいただきながらでございますが、漫画家の先生に描いていただいたものを、クリアファイルというかたちで3種類を作らせていただきました。これによって、また天女のまちづくりとしてPRしていこうと思っているところでございますし、あと、みなさんに持ってもらえるように、あぶらとり紙、ボールペン、それと缶バッジというかたちでの展開をしておるところでございます。実は、間に合わなくてというか、間に合っているんですけども、着ぐるみも製作ができて、昨日ちょっと着てみたんですよ。今日は、紹介できなかったというか、すればよかったんですけども。

(町長)

間もなく登場します、でしょう。

(中本課長)

というかたちでございます。それとあと一つがウオーキングリゾートというかたちで推進しているわけですが、24年度のプロジェクトとしては、商工会と一緒に「東郷湖周“げんきウオーキング”プロジェクト」というものに入って、町のひとつのコースを設置していこうということで、共同でやってきました。それで県のほうも健康体操のほうから町のほうのウオーキングのコースというかたちで進んでおりまして、それも含めながら一緒になって協力してまいりました。このパンフレットでございますが、実質、商工会のほうの主となって決定しまして、7つのウオーキングのコースを作らせていただいたところでございます。それでこれを今後発信していくというかたちを25年度も続けてでございますが、進めていきたいと思っております。これ(ガイドマップ milimili)も商工会のほうで作られていますので、それに関連する商工会のお店等も紹介しながらパンフレットを作らせていただいたところでございます。評価としましては、今後もこういう戦略を

すると、5年計画で進めておりますので、もう少し推進を、25年度はもっと具体的に、具現化していかなければならないのかなということ最終評価としておるところでございます。以上でございます。

(会長)

25番お願いします。

(蔵本健康推進課長)

27ページでございます。ウオーキングリゾートプロジェクトということで、実績のほうをご覧いただきたいんですけども、7月にノルディックウオーク公認指導員養成講座を開催しまして、10名の公認指導員を養成しました。8月18日から1月にかけて、計7回の教室を開催いたしまして、延べ参加者数202人で行いました。その他、地域とか団体のほうからの要請による教室を4回開催をいたしまして、参加者数99人ということで、合わせまして301人ということで、目標としておりました300人をわずかに超えましたので、達成度は100%とさせていただきました。最終評価ですけども、ノルディックウオークに関する認知度が徐々に向上しまして、地域の健康教室とか公民館などの要請による教室も開催できたところがございます。実は、ほんの2、3日前にも、新年度になって5月に教室をやりたいというような要望を受けているところがございます。25年度更なる普及促進に努めていきたいと思っております。以上です。

(中本企画課長)

引き続きですけども、28ページにつきましては企画課のほうで説明をさせていただきたいと思っております。健康推進課のほうは町の事業というかたちでございましたけれども、他団体でも協力していただいております。特にウオーキング協会とかノルディック協会等のほうで協力していただいている内容をここに挙げさせていただきました。前回説明しましたところは省きますけれども、10月以降の分でございますが、11月10日にはSUN-IN未来100kmウオークというものと、翌11日については全日本ノルディック・ウオーク全国大会 in 鳥取 湯梨浜が開催されました。参加人数が、100kmウオークは26人+2チーム、ノルディックウオークにつきましては113人と子ども2人ということで計115人の参加をいただいたところがございます。これにつきましても、あとで補足でもしていただければいいんですけども、遠藤さんをはじめウオーキング協会、ノルディックウオーク協会のほうで、いろいろなテーマで進めていただいております。

引き続き説明させていただきますけれども、東郷湖活性化プロジェクト推進会議でございます。この会議でございます。推進会議第3回というかたちで3月29日に開催させていただきました。事業の目標としましては、事業の進捗状況を随時ホームページ等で公開していくというものでございます。予定通り進捗しておるわけでございますが、第1回会議での意見を受けて、各分野の見直し・事業の追加を行いました。それとホームページで「東郷湖活性化」をご覧になりまして、八東中学校の1年生の「地域活性化を目指すプロジェクト学習」のテーマに取り上げられて、本町に10月10日ですけども来ていただ

いて、プロジェクトについての説明をさせていただいたところでございます。目標達成につきましては、このときはまだ85%だったんですけれども、ほぼ完了しているのかなという思いは持っておるところでございます。以上でございます。

(会長)

全体を報告していただきましたが、何かご質問やご意見はありませんか。あればお願いします。

(荒木委員)

最近の研修で学んだことですが、どんな素晴らしいイベントや事業などを企画、開催しても、やはり地域の人を知っている、そして行ったことがある、体験したことがある、そういうことがなければ、やっぱり地域の人盛り上がってこなければそういうイベントっていうのは長く続かない、成功しないということを学びました。その地域の人に対するPRとかそういうことも含めて、この今の事業の中には十分に取組んであったのでしょうか。

(会長)

何か具体的にというか、ありますか？全体的にということでしょうか。

(荒木委員)

例えば、100%とか85%といった達成率を、各担当者の方が発表されたんですけれども、対象をどういうふうにしたかとか、自分たちが何名だったらそれで十分なのか、そういうことも含めて、今後25年度事業をやっていく上では、やっぱり地域の人っていうことも前提にして取組んでいただきたいと思うんです。

(中本企画課長)

今言われたのは、目標達成率のところは、PRが足りないのに100%になっているんじゃないかというところでの意見かなと思います。今回の%につきましては、事業の目標というものをやはり設けないといけないということがありますから、事業の中のこの部分についてというものを目標にさせていただいておると、その部分についての達成度だということでご理解いただきたいなと思います。最終評価の中で、それぞれ各課なり各団体の方が、こういうところが足らなかったなということで評価をにあげていくというかたちになるんじゃないかなと。

(会長)

はい、いいでしょうか。他にいかがでしょう。では、また後ほどご意見をいただいたら結構ですので。数値目標の達成状況のほうをお願いします。

◆数値目標の達成状況

(前田町民課長)

では、町民課のほうから環境についての数値目標、東郷池の水質CODでございますが、4.5mg/lを目標値として取り組みを進めてきたところでございます。結果といたしまして、平成24年度6.1mg/lということ、近年でも異常に高い数値、非常に水質が悪いと

いう状況でございます。このことに関しては、水草の肥料化の中止のところでも申し上げましたが、特に今年度、今年におきましては夏場の降雨量が少なかった、あわせて非常に高温であったということから、池の中で水の対流が生じなかったことから、その水質が悪化してきたのではないのかなということ、これは今年だけの特徴ではなくて、これから起こる可能性があるものだというふうに理解をいたしております。以上でございます。

(石田産業振興課参事)

次です。観光人口(宿泊客)年間20万人を目標にということでございます。24年度、この統計のほうは県の統計で合わせてますので、年になりますけれどもご了解いただきたいと思います。24年度につきましては、165,950人ということで、約166,000人と。で、前年に比べましても約5,000人の増となっております。だんだんお客さんが戻りつつあるのかなあというふうなことと、それから東郷池を中心にいろいろな環境整備が進められ、あわせて情報発信が進んだおかげかなというふうに思っております。以上です。

次、産業のシジミ漁獲量年間200トンということで設定をさせていただいております。東郷池のシジミというのは黒いダイヤと呼ばれるくらい非常にブランド化された高級品でございます。が、なかなか漁獲量が上がってきておりません。ちなみに昨年24年度でございますが、夏場の水温の上昇、それから海水塩分濃度の上昇等によりまして前年を大きく下回る結果となってしまいました。24年度につきましては108.3トンという結果でございました。以上です。

(中本企画課長)

続きまして資源でございます。各事業の目標値を90%以上にするということでございます。各事業で設定されている目標値を90%以上達成するというので、先ほどそれぞれの事業で目標に対する達成度を発表させていただきました。今現在90%以上に達していない事業もあったということでございます。以上でございます。

(会長)

はい。それでは先ほどの個別事業プラス今の数値目標等についてご意見等ありましたらどうでしょうか。ありませんでしょうか。よろしゅうございますか。

(宮脇町長)

先ほどの数値目標のところですけども、多分荒木さんがおっしゃっている意味は、その数値目標で何を何回したら、何回開催するとかやっていたら、要するにその内容がどうであったか、どこまでいったか、目的としとる次の段階にはどう進んでいるかといったことに関係なく100%と書いてしまうと。そのへんのことだろうと思うので、例えば一つの方法として、前年のものも入れるように、次のときには書くようにしたらどうでしょう。毎年100%でも内容が何も進展していなかったら、そうしたらこの事業は随分進んでないかと評価せざるを得ないし、内容がまた途中で変わってくるようなことになれば効果があったかなと認められるので、そういう考え方もできるのかなと思いますけど。20万人とかなんとかは究極の目標がはっきりしているんで、それは数字で明らかに割り切れますが、そうじゃない部分もあるので、前年分も書いていただくようにしたらいかがかなと思

いますけれども。

(会長)

あの、年々改良していただければいいと思いますので、また様式を工夫をしてくださいということで。他にありませんか？それならば、次のところにいきましょう。今度は新しい年度に向けての事業提案ということで、はじめにご説明をお願いします。

(2) 平成25年度事業提案について

(中本企画課長)

資料でございます。「東郷湖活性化プロジェクト推進に伴う事業提案」というところで説明をさせていただきたいと思います。今回の事業提案は、各団体とか役場のなかのほうに東郷湖活性化プロジェクト推進に伴う事業提案をお願いしますということで、こちらのほうからお願いをしたところでございます。東郷湖活性化プロジェクトに追加する新規事業はございませんかということと、新たな目標の設定、それと事業及び実施主体間の連携、その他ということで、こちらのほうから投げかけた内容でございます。それで、その中で出てきましたのが、第1の活性化プロジェクトに追加する新規事業というかたちで県のほうから出てまいりました「東郷池の河川整備計画策定事業」でございます。東郷池周辺の治水対策を実施するため、東郷池河川整備計画を決定し、早期の事業着手を目指すというものでございます。これを25年度に追加してはどうかということの内容でございます。補足につきましては、今日県のほうから来ておられますので、県土整備局の方より説明をお願いしたいと思います。

(県土整備局 倉本副主幹)

では、失礼します。県土整備局の倉本と申します。よろしくお願いたします。お手元にこういったA3の資料を配らせていただいております。そして内容に入る前なんですけれども、1ページに県内を中心とした幅広い意見聴取（パブリックコメントの実施）というのが最初でございます。この東郷池の河川整備計画でございますけれども、これまで5回の検討会を県のほうから実施し、ご参加いただきまして、治水対策（案）というものをまとめました。結果の抜粋を一枚の資料にまとめたものでございます。1ページ目に意見募集の実施ということで、意見募集の結果ですが、真ん中辺に書いてあります101の意見をいただきまして、またパブリックコメントに合わせまして東郷池周辺の4地区におきまして説明会を開催させていただきました。各会場にご参加いただいた人数は、その下のほうに書いておりまして、全部で83名の方に参加をさせていただいております。また、次の2ページのほうに、その応募のあった意見にどういうふうに対応したのかということを書いておりまして、反映したもの、それから既に計画に盛り込んでいたもの、それから今後の検討課題といったところで整理をしております。この中で、今後の検討課題のところを少し見ていただきたいと思うんですけれども、湖岸提を、湖岸提というのは堤防のことでございます、堤防を整備しても内水、内水というのは堤防の内側、陸地側にたまる水のことございまして、内側に水がたまってしまつて被害が解消できないのではないかと

うようなご意見、また、3番目に、湖岸堤を整備しても地盤沈下してしまうのではないかとといったご意見、また、景観や生態系に配慮した整備をしてほしいといったようなご意見がありました。こういったことにつきましては、今後詳細な測量、または地盤の調査とともにボーリングなどを行いまして、対策を考えていきたいというふうに考えております。3ページをご覧くださいと思います。3ページにこれまでの河川整備計画の検討を進めてきた流れを載せておりまして、先ほどの第5回の検討会というのが真ん中の「検討会・地域住民」のところの1番下に、3月13日に検討会を開催いたしまして、今回の治水対策（案）というものを一応検討会としてご了解をいただいたところでございます。今後、右の河川管理者の鳥取県のほうにおきまして、県の河川委員会にかけまして、基本計画・河川整備計画（案）というものを作っていきます。この案を、関係機関協議、また湯梨浜の町長さんへの協議、国土交通省への認可の申請といったような手続をふみまして、25年度の夏頃に計画を決定していきたいと、そして、その計画を決定した後に、補助事業として護岸の設計を提示いたしまして、実施にうつっていくという流れでございます。その整備の内容につきましては4ページをご覧くださいと思います。4ページの上の図面が平面図になっておりまして、少し小さくて見づらくておりますけれども、赤い線で示しております松崎・旭・引地の約2.3kmの区間につきましては、堤防の整備を行うということにしております。堤防の整備のイメージが下の図面に描いてありますような、基本的には土を盛って堤防を整備するというものでございます。また、黒で示しております道路の部分ですね、4箇所になりますけれども、この分については、少し東郷池が増水するだけで県道が冠水してしまうという区間でございまして、この区間については道路の嵩上げを検討していくというものでございます。こういったものを、概ね10年間を目処に進めていくということ、この治水対策のほうで一応うたっております、今後、この計画を進めていくにあたっては環境と防災のバランスをどういうふうにとっていくのかというような大きな課題がございまして、そのへんを考えると、もう一回。それと、この計画が、どのような大雨に対応するのかというところですが、東郷池の浸水被害は、一番最近では平成23年の9月の台風で発生しております。この台風のときの被害が、概ね30年に1回の大雨ということになっておりまして、それに対応した堤防を作っていくということにしております。ということでございまして、その前に昭和62年に大水害が発生しておりますが、そのときのような洪水が起きると、当然堤防を超えてくるということになってきます。そういうこともありまして、やっぱり橋津川の水門のところ、操作状況が分かるような河川監視カメラの設置等のソフト対策も合わせて進めていくということにしております。以上、簡単ではございますけれども、東郷池の河川整備計画についての現在の状況についてご説明させていただきました。どうもありがとうございました。

（中本企画課長）

というような内容でございまして、これを来年度から活性化プロジェクトの中に追加して皆さんのほうにも広報していきたいなというふうに考えております。概ね10年の計画だ

ということでございますので、この内容を入れさせていただきたいなということでの提案でございます。

(会長)

以上でよろしいですか。何かまだご説明がありますか？

(中本企画課長)

全部行ってしまいませんか。

(会長)

今のことについて、それをこの中に入れるということですが、多分皆さんご異論はないと思いますが、ではとりあえず全体のご説明をしてください。

(中本企画課長)

はい。では続けてですが、新たな目標ですね、先ほど質疑でも出てまいりましたが、新たな目標の設定ということで、現在、環境・観光・産業・資源の各分野で数値目標の設定をさせていただいておりますけれども、新たな視点により取組の進捗状況が判断できる目標があればご提案くださいということで出したわけですが、意見はございませんでした。しかし、先ほどご質問が出て、町長も言っておりましたけれども、前の年との数値を比較するような考え方を持ったらどうかというような意見も出ておりましたので、それにつきましては次回までにまた考えて、提案でもできればなというところでございます。

それと、3番の事業及び実施主体間の連携ということで、現在推進している事業のうち、連携することでより効果が上がると考えられる事業があれば、その手法、内容についてご提案くださいということで投げかけさせていただきました。この中で出てきましたのが、東郷池における住民意識を取り入れた環境指標の検討というかたちで、鳥取県衛生環境研究所 25年度事業の概要についてということで情報提供があったところでございます。環境分野の数値目標として「東郷池の水質 4.5m/l」が設定されていますけれども、そうした値だけでは、東郷池の水環境の姿が住民に分かりづらいことから、鳥取県衛生環境研究所では、平成25年度から調査研究として「東郷池における住民意識を取り入れた新たな環境指標の検討」を事業化し、従来基準と組み合わせることでわかりやすく水環境の姿を示すことのできる、住民の感覚を反映させた指標作りの検討に取り組むということでございます。それで、25年度は新指標の検討に係る基礎調査を実施しますということでの取組をお伺いしました。衛生環境研究所の担当者の方がお見えですので説明をお願いしたいと思います。

(鳥取県衛生環境研究所 初田研究員)

鳥取県衛生環境研究所の初田と申します。よろしくお願いたします。今ご紹介いただきました「東郷池における住民意識を取り入れた新たな環境指標の検討」ということで、平成25年度は新指標の検討に係る基礎調査を実施したいと思っております。具体的な内容については、お手元に「東郷池における住民意識を取り入れた新たな環境指標の検討」というA4カラーの両面の1枚ものの資料をご覧ください。先ほど言われたんですけれども、従来の環境基準・項目だけでは、なかなか住民の皆さんに東郷池の水質がどうい

のかというのが分かりづらいということがあって、もっと分かりやすい環境指標ができないかなということで、平成25年度については、こちら表ページの中ほどをご覧くださいんですけども、まず感覚指標となり得る水質項目の検討といたしまして、CODの実績等で数値を出すのではなくて、「視覚」の中で特に「色」が指標になり得ないかどうかというところを検討していきたいと思っております。さらにその下になりますけれども、感覚指標調査地点の検討としまして、このCODなどの水質の測定については、実際には湖岸から離れた沖合で実施をしています。そういうところで測ったCODの測定結果が、実は住民の皆さんの感覚とずれがあるんじゃないかという観点から、湖岸についてゾーニングさせていただいて、住民さんが湖水を見やすい、知覚しやすい場所を把握したい。そして把握した場所で調査を行っていけないかということを検討しようと考えています。基礎調査の具体的な内容は、まだイメージの段階なんですけれども、当所で昨年度までに実施いたしました住民参加型の調査をしていたんですけども、来年度、東郷湖池水の色調査を住民の皆さまのご協力のもとでできないかなというふうに考えております。手法としては色見本を使って東郷池の水の色を定期的に観察していただく調査員の募集をしまして、調査結果は集計、四半期とか半年で集計しまして、なるべく分かりやすいかたちで調査員さんや住民さまにお知らせしていくと。こういうことをきっかけに住民の皆さんが実際に東郷池を見る機会を増やせないかというところですか、目標であります、色っていうのは感覚指標になり得るのかとか、住民の皆さんが実際に東郷池を見る場所はどこなのかということ把握していきたいなと思っております。基礎調査につきましては、当所の監督だけではなかなか難しい調査になると思いますので、ぜひとも皆さまのご協力のほうをよろしくお願ひしたいということで、3番の事業及び実施主体間の連携のところ提案させていただきました。よろしくお願ひいたします。

(会長)

後ほど、またご質問等いただきますので。

(中本企画課長)

その他でございます。その他で何かありましたらということで出しました。その結果でございますけれども、25年度の会議のときに出てくると思いますけれども、環境分野として「水質浄化覆砂事業及び効果検証について」ということで、実施計画書があるんですけども、効果検証については24年度で終了しますし、25年度は漁業振興を目的に水産関係での覆砂事業実施が予定されている。そのような現状を考えますと、この項目の内容及び関係課の再検討が必要ということで、今後は25年度の次の会合までには、事業を整理して取組みたいと。それと、資源の分野ですが、藤津公園の地盤沈下対策でございますけれども、24年度で事業が終了しておりますので、25年度には反映していかないだろうと思っておるところでございます。それと、もう一つ、その他になります、道路の関係で県土整備局の方から説明をお願いしたいと思います。

(県土整備局 川原副主幹)

県土整備局の川原と申します。実施計画の22ページ、21番の東郷湖周辺の道路整備

ということで、未整備区間であります藤津から宮内区間の整備ということで、今年度につ測量と設計を行ってまいりました。実施計画どおり進んでおりまして、実績についても今年度いっぱい、つい最近ですけれども設計のほうもできあがりまして。お手元のほうに、A3版の道路の図面があると思いますが、前回もちょっとお配りさせていただきまして、説明をさせていただきました。整備の方針としまして、桜並木がございますので、これは最大限残して整備をしていこうということで、ご説明させていただきました。しかしながら、どうしてもやむを得ず切らなくてはいけないところがあります。左側が藤津になりますけれども、藤津側からいきますと、まず17本、枝をはらう必要があります。これについては幹は残りますので、最低限枝をはらわせていただきたいというふうに考えています。それと宮内側にいきまして、道路拡幅に伴い伐採17本と書いてありますが、これは山側のほうの桜ですけれども、17本やむを得ず伐採しなければならないということです。次のカーブのところですが、こちらの3本については、前回はどうしても伐採しなきゃならないかもしれませんという説明をさせていただきました。ただ、この3本が見事な桜だということで、なんとか残す方向でお願いできないかという強いご要望をいただきました。それで、実際に設計を進めてまいりまして、なんとかこの3本は残すことができそうだとということで、残すことになりましたので、ご報告させていただきたいと思います。次に、その先の宮内の入り口になります、この9本につきましては、やむを得ず切らせていただきたいということでご報告させていただきたいと思います。それと、今後ですけれども、来年度にはこの計画に基づきまして地元のほうに説明会を開きまして、用地の取得のほうに進めてまいりたいというふうに思っております。それと、松崎の駅前ですが、こちらのほうは来年度予算化されるということでご説明させていただきましたけれども、補正予算がつきまして、3月に調査費をもらいまして調査の発注をいたしました。今後調査に入るというような段取りになっています。以上です。

(会長)

はい。大きなお話がいくつかありました。一つは河川整備のことをこの活性化プロジェクトに今度載せるということ、これは皆さんご異論ないですね。それから住民意識の色の調査のようなご提案がありました。またちょっと違う指標の基礎づくりをしようというようなことだと思いますので、それも住民としてご協力いただければということでお願いしたいと思います。それから道路の拡幅、歩道の関係で桜のお話がありました。ご意見やご質問がありましたらお願いします。

(宮脇町長)

提案ですけれども、新たな目標のところ、ウォーキングの教室を開催したりして何人参加とかいう実績みたいなものは今でも把握しているんですけど、ウォーキングや教室でいくらとか、ノルディックウォークの大会でいくらとか、大会参加者いくらとか、そういう目標値を入れてみたらどうかなという気はしますけど。遠藤さんのところと町と話し合って相談して決めたらどうかなというような。

(尾崎委員)

できればそれに、さっき荒木さんがおっしゃたように町民の方と町民じゃない方の割合も入れてもらえればいいんじゃないかと。そうしたら町内の方が増えているのが分かればもっと簡単に分かるんじゃないかなと思うんですけど。

(遠藤委員)

日常的に歩かれる方がどこの方なのか、なかなか調べるのは、カウントするのは難しいかもしれません。日常的に歩かれる方が増えるということが大事な事かなと。多分、東郷湖周辺で歩かれる方が増えていくってことが大事だと。

(尾崎委員)

分かればというのは、いろんなイベントをされたときに町民の方が増えてれば嬉しいしということで。そういうのは把握できるんですか？

(遠藤委員)

まあ数のほうは。

(会長)

今、遠藤さんがおっしゃるのは、鳥取県人は歩くのが47位ですから、1番悪いんですよ。もっと日常的に歩かないとどうしようもないっていう話なんです。イベントから輪を広げていくという、そういう方策だと思います。そういう数値もぜひまた考えてみてください。

(山柘委員)

色の最終目標っていうのは、何に設定するんですか？例えば青い水とか、夕方に行けば赤になるだろうし、朝方だったら黒くなるだろうし、どういう色がいいのか、最終的に何を目標としてその色の設定なり指標ができてくるんでしょうか。

(鳥取県衛生環境研究所 初田研究員)

こちらの裏面に【調査表記入例】というのがあるんですけども、色を見たときの感想っていうものをお伺いしようと思っています。色について、この色なら満足、この色はちょっとどうかとか、この裏面の図のように真緑になったり・・・

(山柘委員)

東郷池のイメージの色を探すってことですか？要は「霧の摩周湖は青い」とかそういう広報的なコピーというか。

(鳥取県衛生環境研究所 初田研究員)

そうですね。東郷池の色っていわれてもなかなか難しいですね。

(山柘委員)

基本的には、池の水の色っていうのは太陽光の影響で色が変わるんですよ。ただ、湖水の中の下が白い砂だと例えば今みたいにエメラルドグリーンみたいな色が出てくるとか、例えば夕方は真紅だとか、そういうイメージを探すっていうことでしょうか。きれいとか水質がきれいっていうのはまた違うような気がするんですけど。それとも、水中で水が濁っていると藻が繁殖して緑色になるからとかそういうことですか。

(鳥取衛生環境研究所 初田研究員)

どちらかという、今おっしゃられたほうでして、水の中にどれくらいプランクトンが入っていたらどの色になるというのが、割と今までの調査研究で分かってきてますので。藻が増えると緑になりますし、赤くもなります。赤潮っていう場合もありますし。そういうところで、よく東郷池って実際色が今どんな色かってことが分からないということもありますので、まずはそこの基礎調査を。

(山柘委員)

見た目の色と、水自体の色は違うんですけど、調査をして、その指標をどう使うのかというのは、また別なんですね。分かりました。

(会長)

他にいかがでしょうか。いずれにしても、ご提案があったことは基本的には了承っていうことでよろしいでしょうか。他に何か、ご注文みたいなものでもありますか？

(立木委員)

桜並木を切って、今度また植える方法っていうのはどういうことが考えられますか？

(県土整備局 川原副主幹)

どうでしょうか。道路のほうで何本か伐採しなきゃいけないところはあるんですけど、そのあとのほうですね、桜並木は今、当時植えられた方々も今はもうおられないようですし、逆に言いますと、今後どんなふうに整備をしていくかというようなことを、またこういう会とかでお話していければ何か進むのかなとは言われますが、道路の整備のほうとは別に切り離して考えております。

(宮脇町長)

今、立木さんがおっしゃったのは、フラワーロードとしての整備みたいなことも、ウォーキングリゾート構想の中には入れてますので、ですからその一環で桜の木は経費的にはおそらく町が見ることになると思います。住民の皆さんと一緒に植えられれば一番いいんですけども、そういう格好で、植えられるところにはと思います。県は基本的には植えてほしくないんです。ですから多分植えてもらえないと思います。それは町がやる覚悟でおります。

(遠藤委員)

以前から町長のお話で、天女のモニュメントとかシンボリックなものをやろうかなということを言ってもらっていますが、今後のプランの中に構想的なものというのは何かあるのでしょうか。

(宮脇町長)

まだ、入ってないですね。具体的な手法、何をやるか、それからどういうモニュメントをするかの意思統一が私と企画課長の間でも分かれとるようでした。そのへんの調整もありますし。

(遠藤委員)

せっかくするなら、他にはない強烈なインパクトがあるやつができれば、地元の人の意

識にも何か生まれてくるかなと。

(中本企画課長)

25年度の未来創造会議も開かせていただいているということも考えておきまして、皆さんからご意見もいただきながら、先ほどの桜の話もですけども、未来創造会議でも桜を植えたかどうかというような意見も出ていましたので、そういう話を含めていきたいと思っております。それをまたこちらのほうにもフィードバックしていくというようななかたちで提案したいなと思っております。

(会長)

ほかにはいかがでしょうか。

5. その他

(宮脇町長)

他の話になってもいいでしょうか。二つほどちょっと紹介しておきたいことがあります。一つは、ハワイ夢広場の側にローラースケート場が従来あったんですが、あそここのところをスケートパークとして県が整備なさいまして。4月14日にそのオープニングの式があることになっております。そこにまた若い人が集まるような格好になろうかと思えます。それからもう一つ、この度異動で変わられましたけれども、羽合消防署の坂本署長が提案しておられることで、中部はひとつでヒューマンチェーンっていうことで東郷湖一周を人が手をつないでやるイベントを仕掛けたらどうかと。ギネスあたりで新記録になればなおさら価値があるので、やってもいいかなと思うんですけど。12km、1人1mとして12,000人ですよね。数が半端じゃないので大変なことだと思っております。連合長あたりにも話して、中部としての取り組みでということは一応了解を、各市長さんがたにはもらってますけれども、要するに人数のバックをどう作るかというのが課題になってますので、そのへんまた皆さんからご意見聞かせていただいたらというふうにも思ったりしております。

(委員) 何人ぐらい要とおっしゃいました？

(町長) 12,000人です。

(中本企画課長) 12kmですので、1人1mとするとそのくらいかなと。実際は、もうちょっとあるんじゃないかと思いますが、中には小さい人もありますから。

(宮脇町長)

多分、これだけのためには人は来てくれませんから、B級グルメとかそういうイベントも絡めてやろうかなということで考えかけております。

(会長)

他にいかがでしょうか。よろしいですか。事務局はどうですか？

(中本企画課長)

今度の日程、その他でございます。会長及び副会長の日程調整の上で決定させていただきますけれども、第1回の予定としては5月の下旬から6月の上旬を予定させていただ

ております。第2回としては10月上旬の予定。それと第3回は3月、今回は最後になりましたけれども中旬を予定というかたちで今後調整していただきたいと思いますので、来年度も引き続き出ていただきたいと思います。以上です。

(会長)

くどいですが、よろしいですか。この会も数年ずっと続いているんですけども、どんどん数値一つとか、今日ご提案のあったように、こうしたらもっと中身が見えるんじゃないかとか、そういったことを言っていただいて、より効果的な会になればいいなと思いますので、どうぞよろしく願いいたします。では、今日はこれで終わりにしたいと思います。どうもありがとうございました。

1. 閉 会 16:30